

## 一 教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画に関すること

### (1) 教員の養成の目標

本学は、「公德心を体した真の国際人の養成」を建学の精神とし、「大志(Vision)、勇氣(Courage)、知性(Intelligence)の3資質を備えた人材の輩出」という教育目標を掲げ、1965年に創学し、2021年度に6学部11学科、4大学院研究科から成る大学に発展した。

各種の教員免許取得課程は、各学部及び学科の設置順にほぼ従うものである。本学は、創学時は商学部商学科から始まっており、「社会、公民」の中学校教諭一種免許及び高等学校一種免許を申請し、当時の文部省より認可された。1989年に開設した経済学部経済学科に、商学部と同様に「社会、公民」の中学校・高等学校の教員免許取得課程を設置している。

その後教養学部(人間関係学科、国際学科)が改組され、国際関係学部と人間社会学部が開設され、国際関係学部国際関係学科は、「社会、公民」の中学校及び高等学校一種教諭免許課程を、現在の国際メディア学科(国際報道学科が名称変更)は「英語」の中学校及び高等学校一種教諭免許課程を設置した。そして人間社会学部の福祉心理学科は、「社会、公民」の中学校及び高等学校一種教諭免許課程を設置した。

この後本学は、特に英語力という面から国際人の養成に取り組むための言語コミュニケーション学部英語コミュニケーション学科を開設し、英語の本格教育をスタートするとともに、この学科には当然「英語」の中学校及び高等学校一種教諭免許課程を設置し、英語教員の排出に更に注力することにした。

さらに2011年には「人間スポーツ学科」、2012年には「スポーツ科学科」を人間社会学部に新設した。それに伴い当該2学科では「保健体育」の中学校及び高等学校一種教諭免許課程を設置した。他の専門と比較して、「保健体育」の免許取得を希望するスポーツ学科の学生は極めて多く、毎年取得者が100名前後に上り、その趨勢は今日にいたっている。加えて、2016年度からはこうした本学での教員免許取得課程を基盤とした「小学校教員免許状取得プログラム」を開始し、プログラム提携校での学習を通じて、言語コミュニケーション学部及び人間社会学部では、現在、本学での基礎免許取得に加えて小学校一種教諭免許状の取得も可能とした。

以上が学部学科の開設に伴う教員免許取得課程の設置の流れであるが、本学では建学の精神である「公德心を体した真の国際人の養成」を教員養成教育にも浸透させ、国内外に対する広い意識と展望を持ち、英語の領域だけでなく、いかなる専門分野や教育現場にも生かせる教員の育成を強く意識している。また、本学の教育の3資質は、いかなる教員免許を目指す教育にも通じるものであり、教育者の基本的資質としても強く意識し、目標の達成に努めている。

換言すれば、本学教育の3資質は、大学全体及び教職課程における教育課程、そして日常の教育指導等を通して累積的に4年間で達成することを目指しており、全教職員にFD・SD等の研修などでも目標及び方法について情報の共有に努めている。とりわけ専門分野や教育現場に対応する資質の育成に関しては、教職課程科目での指導、特に「教育実習演習」や「教職実践演習」での指導を丁寧且つ厳格に実施している。例として、各専門教科別の教育実習演習の評価欄には、現場での教育実習が「可能か否か」を明記する項目があり、学生の意識向上だけでなく、教育者としての質保証と目標達成に繋がる努力を表している。さらに本学は、近隣の川越市、鶴ヶ島市、川島町の2市1町の教育委員会と教育協力協定を締結しており、必要な時に現場の教員との交流や教育委員会からの指導を受けることができるシステムを構築している。川越市と鶴ヶ島市からは、協定を通してインターンシップの派遣要請が毎年来ており、

専門分野だけでなく、クラブ活動の指導アシスタントなど教科外の活動も教職課程の学生には経験させる機会があり、質の高い教育者の養成と言う目標達成に努めている。

さらに、本学特有の国際性の養成と言う意味では、「英語」領域では国際社会においてコミュニケーションツールとして、使える英語の修得を目指しており、現場で使える英語力と国際理解に関する知識の養成に力を注いでいる。そして「保健体育」領域においても、競技としてのスポーツのグローバル化、国際的なスポーツビジネスの進展、IT化と健康生活維持の方法等の社会の要請に対応する意識と能力の育成することを教職課程にも取り入れており、グローバルマインドに裏打ちされた教育者の活躍を期待し、その養成に努めている。

(2) 当該目標を達成するための計画

本学では、上記目標を達成するための教員養成プログラムを以下のとおりに構築し、4年間一貫した学生支援を実施している。また、2018年度からは新たに全学的な教職課程マネジメントの図るとともに、教員志望の学生に対しては実践的な教員採用試験受験のための支援を行うことを目的とした「教職支援センター」を開設している。

【教員養成プログラム】

	第1 Semester	第2 Semester	第3 Semester	第4 Semester	第5 Semester	第6 Semester	第7 Semester	第8 Semester	
教職課程での学び	ステップ	教職の意義や使命感および基礎理論等を学ぶ		指導法の基礎等を学ぶ		教科・教職の専門性と実践力等を学ぶ		実践と応用	総まとめ
		教科の基礎等を学ぶ							
	大学のカリキュラム(授業)	教職に関する科目・教科に関する科目の学習							
		教科の指導法に関する学習				教科の専門的な学習		教育実習	教職実践演習
						教育実習演習(事前指導)			
						介護等体験(事前指導含む)			
	全体指導(ガイダンス等)	新入生ガイダンス※1(教職)	教職ガイダンス※2(2年生対象)		教職ガイダンス※3(3年生対象)		教職ガイダンス※4(4年生対象)		
						介護等体験直前ガイダンス		教育実習直前ガイダンス	
		「教職セミナー」(教員採用試験対策指導)							
	個別指導	「履修カルテ」に基づく個別指導							
学外実習	スクール・インターンシップ(川越市・鶴ヶ島市)								
教職支援センター	「教員採用試験」に向けた各種対策講座の実施(教職教養科目、専門教科科目、小論文、実技科目、集団面接、個人面接、などの指導)								

※1: 主に、教職課程全般についての履修指導、教員になるための心構え等についての指導などを実施。

※2: 主に、教科の指導法等についての指導、「介護等の体験」についての説明などを実施。

※3: 主に、「介護等の体験」に向けての準備指導、「教育実習」についての説明などを実施。

※4: 主に、「教育実習」に向けての準備指導、教員採用試験に向けた指導などを実施。